

【新着図書のご案内】

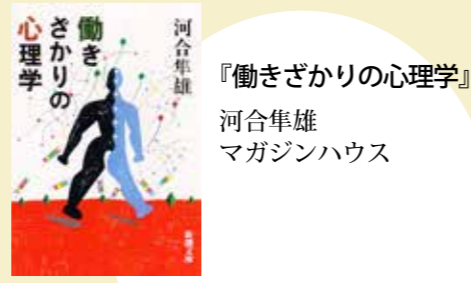
・当センター「図書コーナー」にある本を紹介しています。  
【貸出しのお約束】・1人5冊まで ・期限：2週間 ・利用時間：9時～17時



『ストレスゼロの生き方』  
Testosterone  
きずな出版



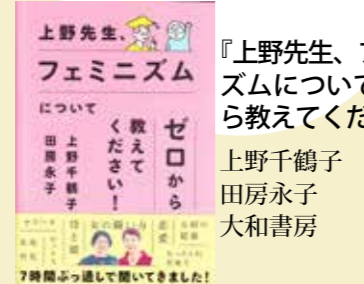
『生理ちゃん』  
小山 健  
KADOKAWA



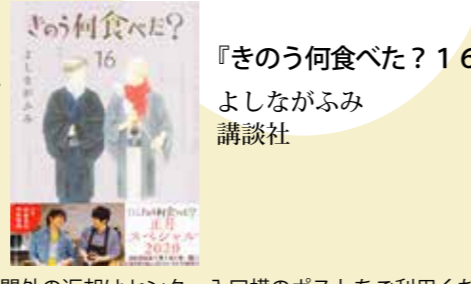
『働きざかりの心理学』  
河合隼雄  
マガジンハウス



『孤独の意味も、女であることの味わいも』  
三浦瑠麗  
新潮社



『上野先生、フェミニズムについて教えてください』  
上野千鶴子  
田房永子  
大和書房



『きのう何食べた？16』  
よしながふみ  
講談社

※時間外の返却はセンター入口横のポストをご利用ください。

ひとりで悩まないで... 気軽に相談を...



令和1年11月から  
相談日・時間が  
変更になりました。

とらいあんぐるん相談室

電話 027-224-5210

●相談日と時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	—	○	○	—	○	—	○
13:00～16:00	—	○	○	—	○	—	○

女性専用電話相談です。  
相談は無料で秘密は厳守します。

・年末年始(12/29～1/3)、祝日、月曜日は休み ・月曜日が祝日の場合、火曜日も休み

【相談内容】性別役割分担や性別による不平等、女性の自立や能力の発揮、ワークライフバランスなど…。

とらいあんぐるん ぐんま男女共同参画センターのご案内



●お車でお越しの際は県庁内「県民駐車場」をご利用ください。(2時間まで無料)

ぐんま男女共同参画センター

〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12  
電話 027-224-2211 FAX 027-224-2214  
メール sankakuse@pref.gunma.lg.jp



●研修室の貸出しを行っています。

詳しくはホームページをご覧ください。  
詳しくはホームページをご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、休館となる場合もあります。

●センター通信は、この号をもって紙での発行を終了します。今後は群馬県ホームページに掲載しますので、引き続きご覧下さい。

ぐんま男女共同参画センター



センターHP QRコード

●休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)  
12月29日～1月3日

ぐんま男女共同参画センター センター通信 No.57  
【発行】群馬県ぐんま男女共同参画センター【発行日】2020年3月20日

とらいあんぐるん

ぐんま男女共同参画センター通信

2020年3月

No.57



ぐんま男女共同参画センター  
〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12  
TEL: 027-224-2211  
FAX: 027-224-2214  
メール: sankakuse@pref.gunma.lg.jp

～男女共同参画社会の実現を目指し活躍する人たち～

インタビューコーナー 第28回

えんとかぶしきかいしゃ だいひょうとりしまりやく ばば さなえ  
ento 株式会社 代表取締役 馬場 早苗さんに聞く



●起業のきっかけ

デザイナーとして印刷会社に勤務していましたが、非常に残業が多く、仕事と家事や育児の両立を図ることは困難でした。女性は結婚や出産を機に、会社を辞めるかパートになるかかなかったのです。私はそのどちらも納得できず、育休を取得し、復帰しました。しかし、残業もできないために責任のある仕事を任せてもらえず、好きだった仕事をつらいつ感じようになりました。また、「ママがいい」と泣く我が子を早朝から暗くなるまで保育園へ。最後の一人となって迎えを待っている子どもに対し、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。家事や育児も中途半端・・・。何一つ満足にできず、ストレスばかりがたまっていきました。私、何のために仕事をしているのだろうか・・・と。

●人生の転換期

そんなある日、ふと目にした広報誌で「太田なでしこ未来塾」という女性向けの起業塾の案内を見つけ、思い切って申し込んだのです。実は、申込む勇気すら持たず、迷いに迷った上での決断でした。そこで、それまでの会社

と家との往復だけでは出会えなかったような方々と知り合うことができました。自分で働くヒントを得るつもりで参加しましたが、ヒントを得どころか、人生を変える転機となりました。

また、第2子の育休が明け、会社に復帰後、しばらくして、「おおたシティープロモーション認定事業(太田市の魅力を掘り起こす事業に対する補助金)」に友人と共に応募し、認定していただきました。この事業で「おおたパンめぐり」というフリーペーパーを制作。無謀にも2万部発行したのですが、新聞などメディアに取り上げていただいたことや、市の協力で市内の保育園等に配布していただいたことで大変好評となり、増刷となるほどでした。知名度が上がったり、人脈が広がったり、予想外の効果がありました。この認定をきっかけに、独立しようと会社を退職したのです。

●起業してみても

営業活動もしていないために、当然はじめは仕事もなく、収入もゼロ。そこで、学びと人脈を求めて、県主催の創業プラン実現支援塾、田中仁財団主催の群馬イノベーションスクールにも参加しました。

この2つのスクールも、参加していなかったら今の私はないと言い切れるほど、大きな影響を受けた場所となりました。行動力や熱意を持った、たくさんの方々と繋がることができました。そこから、仕事を依頼してくれる方や、知り合いに紹介して下さる方などが出てき

て、人との繋がりが仕事に繋がっていききました。私自身を直接知ってもらい信頼を得ることで、仕事を依頼していただけるということ学びました。

ビジネス交流会などに積極的に参加して人脈を広げたり、講師依頼を引き受けたりしていることで社交的でポジティブだと思われがちですが、実は、パソコンの前に1日中、座り続けて仕事をすることが苦にならない内向的な性格です。自分には営業などできないと思っていたのですが、思い切って行動を起こせば、なんとかなるものです。

●これから何か始めたい人に一言

とりあえず、やってみようの一言です。まず一歩踏み出す、それが大切なのです。一歩踏み出して行動してみたら、新たな世界や人脈も広がり、その繋がりが経験からさらにまた新しい世界を知ることができました。

人によって合う合わないもあるので、必ずしも起業を勧めるわけではありません。しかし、もし現状に不満があって何かを変えたいと思っているのであれば、ほんの小さな一歩でいいので、ぜひ踏み出してみてください。

馬場早苗さん(ento 株式会社代表取締役)【プロフィール】グラフィックデザイナー、デザインや販促物の企画を請け負う ento を起業。群馬イノベーションアワード2017ファイナリスト。2児の母。

インタビューコーナーでは、「男女共同参画社会の実現を目指し、さまざまな立場で活躍している人」を紹介します。